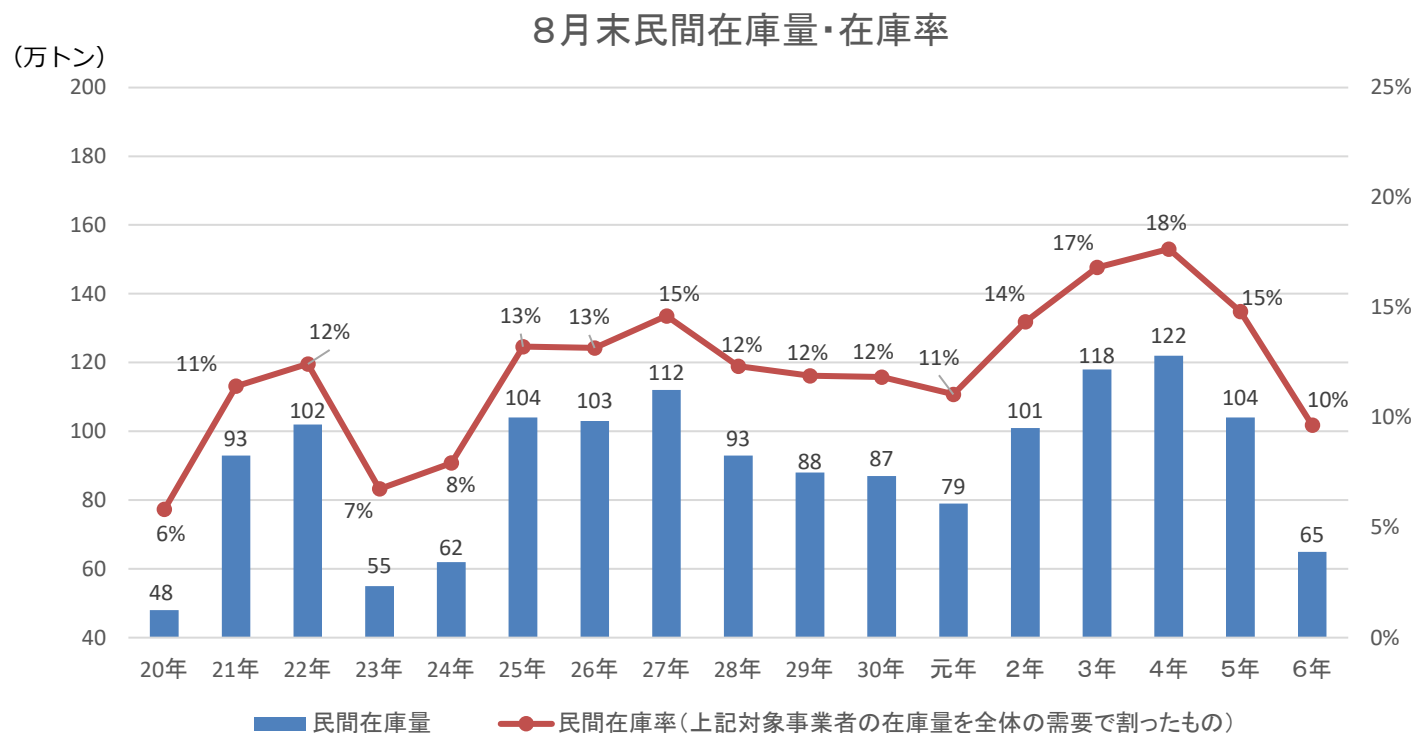


令和6年8月末民間在庫量のポイント

- ✓ 毎月公表している民間在庫量は、①500トン以上の集荷業者、②4,000トン以上の卸売業者が対象。およそ民間の流通在庫全体の7割強をカバー(別紙参照)。
- ✓ 令和6年8月末の民間在庫量は、65万トン(在庫率10%)で前月より▲17万トンの減。前月(7月)の対前月差(▲32万トン)より減少幅が小さいが、これは8月に入り、新米が集荷され、在庫として積みあがってき始めたことによるもの。
- ✓ 在庫率としては、令和6年8月末は10%であり、前月と同様に、平成23年8月末(7%)、平成24年8月末(8%)などよりは高い水準。

※ 在庫率は上記対象事業者の在庫量を全体の需要で割ったもの。



※22年以前は、政府備蓄米の運営を回転備蓄方式で実施していたため、政府備蓄米がこの他に主食用米として販売されている。

(参考) 毎月公表している民間在庫量の調査対象の範囲

	出荷段階	販売段階		生産段階
	年間取扱 500トン以上	年間取扱 4,000トン以上	年間取扱 500～ 4,000トン	
うるち米	【毎月調査ベース】 6月末在庫 115万トン ↓ 8月末在庫 65万トン			
もち米				

【米の基本指針ベース】
156万トン
(※6月末のみ調査)